

CONTENTS

■2012年度 公開シンポジウム報告

自伝的記憶と心理療法——記憶に触れることの困難と意義——	5
トラウマの記憶に触れることの治療的意義	森 茂起 5
アタッチメント臨床における記憶の扱い	北川 恵 11
記憶に触れることは援助的か	
——身体志向心理療法の立場から——	福井 義一 19
指定討論	西 欣也 26

■投稿論文

学生相談内容の分類項目における発達障害の位置づけ	
——過去十年間の学生相談活動の調査から——	山口修一朗 39
狐・ヒステリー・解離性障害	安齊 順子 49
ペドロ・レイエスによる複数の場	
——「使用される芸術」、サナトリウム、人形劇、	
そして武装解除	石谷 治寛 63

■書評

村上春樹著『意味がなければスイングはない』	
——見守り手がいなけりゃ芸術はない——	中島 美穂 93

■研究活動報告	101
---------	-----

■研究員名簿	117
--------	-----